

日本マニュアルコンテスト 2012 結果報告書

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

はじめに

日本マニュアルコンテストは、一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会が主催し、マニュアルコンテスト憲章にもとづき、以下の目的で開催されます。

- (1) マニュアルの品質向上を目的として、コンテストを継続・維持することでマニュアル評価方法の改善と普及を図る。
- (2) マニュアル評価ガイドラインを作成し、時代の変化に合わせて改定するためにマニュアルコンテストから得られる情報を活用する。
- (3) 制作者およびユーザーが、共にその審査結果に納得できる信頼性の高いマニュアルコンテストを目指す。
- (4) 優秀なマニュアル制作の功労者を表彰する。

毎年、結果報告書を発行し、日ごろマニュアル制作に携わっている方々がこの報告書から何かを感じ取り、今後のマニュアル品質や制作技術の向上に役立てていただけるよう取り組んでいます。

なお、11月下旬には本年度の応募作品の中から優れた作品を紹介するサンプル集をTC協会ホームページで公開する予定です。こちらにもぜひアクセスしてください。

http://www.jtca.org/tc_award/index.html

2012年日本マニュアルコンテストによせて

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会会長 岸 学

皆様のご協力によりまして、今年も無事にマニュアルコンテストを実施し、充実した成果を挙げる事ができました。

ご応募いただきました多数の団体の皆様、そしてコンテストの運営や審査に携わりました多数の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

今回は、初の試みとして、マニュアルオブザイヤーの審査を京都会場にて行うという劇場型のコンテストとなり、インパクトのあるコンテストであったと思います。今後ともいろいろな新しい企画で実施していきます。同時に、マニュアルの品質に対する意見も多数頂戴しており、品質向上を意図する企画も検討を重ねていきたいと考えます。

本年度のマニュアルコンテストを振り返って

実行委員長 嶋田 正裕

2012 年度マニュアルコンテストの結果報告をする時期になりました。本年度も関係者の方々の多大なるご協力のもと、無事マニュアルコンテストを終了し、結果報告をお届けすることができることに感謝いたします。

本年度の応募状況ですが、言うまでもなく今年の応募対象のマニュアルが制作されたのは震災後の一年間です。このためそれが応募数にどう影響するのか正直のところ若干の心配がありました。しかしふたを開けてみると 7 部門に 74 作品の応募があり、これは前年度の応募作品数を 10 件ほど上回る結果となりました。このことから日本のマニュアル制作現場が震災などの外部要因にもひるむことなく改善の意欲を持ちながら制作に取り組んでいたことが想像でき心強く感じました。

実行委員会では、これらの応募マニュアルを例年どおり定められた手順に従って厳正な審査を実施し、結果として総数 23 点の受賞作品を決定しました。これらの受賞マニュアルは東京でのシンポジウム会場で開催した表彰式で表彰されました。昨年は震災の後遺症のため一部の受賞マニュアルの関係者の方しかお招きできなかったため、非常に残念かつ申し訳なく思いましたが、今年はまた全受賞作品の関係者の方に直接賞状などをお渡しすることができたことはこの上ない喜びでした。

ところで従来と比べて本年度大きく変わった点はマニュアルオブザイヤー(MOY)の選出方法でした。

従来は夏の東京でのシンポジウム当日に開催される表彰式に先立って実施されている最終審査委員会で MOY が既に決定されており、それが表彰式当日に一般に公表されるということになっていました。しかし本年度は MOY の決定、表彰は秋の京都でのシンポジウム会場で行われることになり、そのため東京会場の表彰式では MOY の候補作(ノミネート作品)が発表されるだけになりました。そして京都でのシンポジウム会場で、MOY 表彰式に先立ち、ノミネート 3 作品の代表者が最終審査委員と一般聴講者の前でプレゼンテーションを行い、それを参考にしながら最終審査委員が MOY を決定し、引き続き表彰式会場で発表、および表彰を行いました。初めての試みでもあり会場は大いに盛り上がりました。

応募部門別に見るとやはり冊子マニュアルの操作マニュアル部門が全体の半数近くを占め、例年通り主流であることがわかります。また画面で見るマニュアル部門も応募数が順調に増えています。これに対して気になるのは活用マニュアルの応募件数が年々減少していることです。活用マニュアルは特定の目的を実現するために一部の機能だけを抜き出して構成する

マニュアルです。まさしくマニュアル制作部隊の腕の見せどころといったマニュアルなので、応募件数も多くなるのではと期待していたのですが、このように年々減少しているということはこういった活用マニュアルを制作する環境にないということなのではないでしょうか。優れた活用マニュアルはユーザーにとってとても有益だと思うのですが。

また今年の特徴として受賞名に奨励賞と付いているものがいくつかあります。これは本賞には今一步及ばなかったものの見どころのある、またこの点をさらに伸ばしていけば本賞に到達する可能性のあるといった文字どおり奨励の性格をもつものです。これらの賞に関しては受賞マニュアルにも関わらず審査員からの辛口のコメントが届いているものもあるかもしれませんが、趣旨を理解されてぜひ参考にされ今後の品質向上に努めていただきたいと思います。

マニュアル制作の環境はさらに厳しさを増していくことが予想されますが、私たちコンテスト実行委員はコンテストの受賞がみなさまの励みになるよう、今後とも努力してまいります。来年度も皆様からの活発な応募とご協力をお願いいたします。

結果分析

各部門について 副実行委員長 鈴木 裕一郎 宮前 秀樹

本年の応募マニュアルの特徴を部門別に見ていきます。

■操作マニュアル第1部門

この部門は、一般ユーザー向けに書かれ、使用する機器の全機能を説明した冊子マニュアルを対象としています。今年の実応募点数は、30点と全部門の中で一番多く昨年の1.5倍に及ぶ応募点数でした。

この部門のマニュアルは、その位置づけからユーザーの心を掴むための新しい工夫が多く生まれてきた部門です。

今回の応募作には新しいマニュアルの流れを予感させるようなものも出て来ましたが、完成度においてはまだいま一步の感がありました。そのため、今年も部門最優秀賞は該当作がありませんでした。ただ、この部門からは最終審査委員特別賞2点、企画賞1点、デザイン奨励賞2点と多くの受賞作品も出ました。ユーザーに読まれるための工夫に挑戦した事が評価されたと思います。来年もユーザー目線でレベルの高い作品が応募される事を期待します。

■操作マニュアル第2部門

この部門は、専門的な業務に従事するユーザー向けに書かれ、取扱情報の全機能を説明した冊子マニュアルを対象としています。今回は、応募6点のうち、2点が受賞となりました。本年度は、文章を簡潔にする、レイアウトの余白をとる、イラストや索引を充実させるなど、基本的な要素を手堅くまとめたマニュアルが高い評価を受けました。

本部門のマニュアルは情報量が多くなる傾向にあります。いずれの作品も、どうすれば多くの情報を整理して見やすくできるかという視点を感じさせるものでした。一方で、その視点をマニュアルの表現形式にうまく落とし込めていない作品もありました。来年度は、さらなる工夫をこらしたマニュアルが多く出てくることを期待します。

■活用マニュアル第1部門

一般ユーザー向けに取扱情報の一部のみを説明するこの部門は、本年度の実応募が6点でした。この部門は、新たな試みを実行しやすく、さまざまな企画内容の冊子マニュアルの実応募があります。その一方、マニュアルとしての完成度のバラツキも大きい印象です。その中でも、

取り扱いがしやすく、カラーを効果的に使って全体をうまくまとめて安心感を与える作品が部門優良賞に選ばれています。しかし、本年度は残念ながら部門優秀賞の受賞作はありませんでした。

来年度は、まずは応募作品が増えること、そして、魅力的な企画内容を高いレベルで実現した作品を期待します。

■活用マニュアル第2部門

専門的な業務に従事するユーザー向けに取扱情報の一部のみを説明するこの部門は、本年度の応募が3点でした。その中でも紙面デザインを従来のマニュアルのイメージから一新した作品がデザイン奨励賞に選ばれています。わかりやすさの点では改善の余地がありますが、今後に期待が持てる作品です。その他の作品も制作者の工夫や改善の意図は良いもののマニュアル全体としての完成度の高さや魅力を感じるレベルには到達していない印象です。このため、部門優秀賞・部門優良賞ともに受賞作なしという寂しい結果となりました。

業務ユーザー向けマニュアルについても高い品質が求められるようになり、この部門の重要性も増していきます。来年度は多数の応募を期待します。

■シートマニュアル／パッケージマニュアル部門

前年度は優秀賞・優良賞ともに入賞該当作がありませんでしたが、今年度は3点入賞しました。しかしながら、新しいシートマニュアルの流れを予感させるようなアイデアに乏しく、手堅くまとめられた作品の入賞となりました。

色数の多い作品が高く評価されやすい傾向にありますが、色は効果的に使わなければ意味がありません。また、色を使わずとも、工夫しだいで色物に劣らない表現を生み出せるのではないのでしょうか。

ぱっと見て知りたい情報を得られる、そんな役割を担ったシートマニュアルに新しい風を吹き込む作品が出て来るのを期待しています。

■画面で見るマニュアル第1部門・第2部門

今年は、第1部門と第2部門合わせて15件のエントリーがありましたが、今年の印象を一言で表すと「仕組み偏重、コンテンツ軽視」でした。制作や提供の仕組みには工夫がされているが、実際のユーザーにとってのコンテンツ品質がおろそかになっている傾向を感じました。ひとつの例として、閲覧コンテキストが異なるであろうWebマニュアル(HTML)とPDFマニュアル(印刷物)がまったく同じ情報構成になっている、PDF用に作成した画像がそのままHTMLに

転用されているといった、CMS 利用とおぼしきシングルソースマルチユースが裏目に出ているものが数点見られました。その点では、受賞作の JVC ビデオカメラのスマホ向け Web マニュアルは「外出時の閲覧」に特化し、PC 向け Web マニュアルとも情報構造を変えており、ユーザーの利用状況を考慮したマニュアルの好例と言えます。

「画面で見るマニュアル」部門では、クロスメディア展開やリッチコンテンツ化という観点で光るものも多く見られましたが、コンテンツの内容そのものに対する、地に足の着いた継続的な改善も期待します。

本年度のマニュアルコンテスト概要

応募状況

■ 応募点数（総数 74 点）

冊子マニュアル

操作マニュアル第1部門	30 点
操作マニュアル第2部門	6 点
活用マニュアル第1部門	6 点
活用マニュアル第2部門	3 点
シートマニュアル／パッケージマニュアル部門	14 点
画面で見るマニュアル第 1 部門	11 点
画面で見るマニュアル第 2 部門	4 点

■ 応募会社（順不同）

NEC デザイン&プロモーション株式会社

TOTO 株式会社

アール・ビー・コントロールズ株式会社

アルパイン技研株式会社

カシオ計算機株式会社

キヤノン株式会社

セイコーエプソン株式会社

ソニー株式会社

ソフトバンクモバイル株式会社

ダイキン工業株式会社

パナソニック エコソリューションズ クリエイト株式会社

パナソニック株式会社

ヤマハ株式会社

ローランド株式会社

岡村印刷工業株式会社

株式会社 JVC ケンウッド

株式会社 PMC

株式会社ケアコム
株式会社ケイ・オプティコム
株式会社ソニー・コンピューターエンタテインメント
株式会社テックコミュニケーションズ
株式会社ニコン
株式会社ノーリツ
株式会社バンダイ
株式会社ピクセラ
株式会社リコー
株式会社東芝 デジタルプロダクツ&サービス社
株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス
株式会社日立製作所
三菱電機株式会社
島津エンジニアリング株式会社
東芝キャリア株式会社
東芝テック画像情報システム株式会社
東芝ビジネス&ライフサービス株式会社
東芝ホームアプライアンス株式会社
日立アプライアンス株式会社
日立アロカメディカル株式会社
日立工機株式会社
富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社

一次審査

■審査方法

冊子マニュアル各部門

国際規格「IEC 62079:2001、取扱説明の作成 — 校正、内容及び表示方法」の附属書 B および附属書 C のチェックリストをもとに作成した「日本マニュアルコンテスト 2012 評価チェックリスト」を使用して審査しました。本評価チェックリストは日本マニュアルコンテスト 2012 実行委員会を中心として構成された WG メンバーが作成しました。

シートマニュアル／パッケージマニュアル各部門

冊子マニュアルの審査に用いたのと同じ「日本マニュアルコンテスト 2012 評価チェックリスト」を使用して審査しました。

画面で見るマニュアル各部門

画面で見るマニュアルに最適化した「日本マニュアルコンテスト 2012 評価チェックリスト(一画面で見るマニュアル)」を使用して審査しました。本評価チェックリストも冊子の評価チェックリストと同様に日本マニュアルコンテスト 2012 実行委員会を中心として構成された WG メンバーが作成しました。

この部門は日本マニュアルコンテスト 2012 実行委員から選出された審査委員が審査を担当しました。一部応募会社内でないと審査環境が整わない作品については審査委員が応募会社に出張し審査しました。

■講習会

日本マニュアルコンテスト 2012 に審査委員として参加される方に、このコンテストで使用する評価チェックリストの基本的な考え方を解説し、評価レベルの均一化を図りました。

本年度も東京、名古屋、大阪の 3 会場で開催されました。

講師：徳田 直樹氏(株式会社パセイジ)

参加者：名古屋 9 名 大阪 8 名 東京 45 名(合計 62 名)

対象者：

初めて審査を行う方および講習を希望された方を対象としました。

講習内容

「日本マニュアルコンテスト 2012 評価チェックリスト」および昨年度の事例をまじえて要件評価と表現評価の内容を具体的に解説し、活発な質疑応答により理解していただきました。

二次審査

■審査方法

一次審査結果に基づき、マニュアルコンテスト実行委員で部門ごとに相対評価を行い、その妥当性を検証しました。

●二次審査委員(順不同)

嶋田 正裕	株式会社日立 ICT ビジネスサービス
鈴木 裕一郎	株式会社日立テクニカルコミュニケーションズ
宮前 秀樹	PFU ソフトウェア株式会社
大杉 孝宣	株式会社情報システムエンジニアリング
川島 祐介	ソニー株式会社
木田 和恵	株式会社アイデア・インスティテュート
草間 順子	ソニー株式会社
熊澤 宏	株式会社シイエム・シイ
小鶴 康浩	日本アイ・ビー・エム株式会社
清水 祐貴	株式会社 JVC ケンウッド
清水 義孝	株式会社クレステック
瀬戸 大地	株式会社クレステック
外池 麻紀子	東芝ビジネス&ライフサービス株式会社
千葉 理恵	株式会社 JVC ケンウッド
都築 行博	岡村印刷工業株式会社
徳田 直樹	株式会社パセイジ
永井 洋一	株式会社石田大成社
根本 隆志	キヤノン株式会社
深谷 麻衣	株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス
村田 達哉	アベイズム株式会社
村田 良一	NEC デザイン&プロモーション株式会社
吉井 正典	富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社
和田 千明	株式会社島津製作所

最終審査

■審査方法

二次審査を経て各部門の上位マニュアルを、有識者によって審査しました。

●最終審査委員(五十音順)

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 市川 美知 | 産業能率大学 情報マネジメント学部 講師 |
| 長田 敏 | 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 参事官 |
| 久保 雅義 | 京都工芸繊維大学 大学院教授／ブランドデザイン教育研究センター センター長 |
| 山根 香織 | 主婦連合会 会長 |
| 綿井 雅康 | 十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授 |

●デザイン賞審査委員

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 坂野 公一 | welle design 代表／グラフィックデザイナー |
|-------|-----------------------------|

表彰式

今年はマニュアル オブ ザ イヤー(MOY)が京都でのシンポジウムの会場で決定することになったので、表彰式も東京と京都の両方で実施しました。すなわち東京ではシンポジウムの会場で例年どおりの全マニュアルの表彰を行い、京都でも同様にシンポジウムの会場でMOYの表彰を行いました。東京会場では全受賞マニュアルの関係者の方に登壇いただき会長より直接表彰状が授与されました。昨年は一部の受賞作品の関係者の方しかお招きできなかったのが残念な思いをしましたが、今年は従来の形式が復活できて良かったと思います。さらに京都では初めての試みとして、MOYの選考に先立ち表彰式の会場でノミネート3作品の各代表者によるプレゼンテーションが行われ、それを参考に最終審査委員によってMOYが決定されました。MOYの発表のときには会場は大いに盛り上がりました。

●式次第

□東京開催

1. テクニカルコミュニケーター協会 会長 挨拶
2. 来賓挨拶 経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課 小松原 繁氏
3. マニュアルコンテスト実行委員長による経過報告
4. 表彰(賞状, 盾の授与)
5. マニュアル オブ ザ イヤー ノミネート作の紹介

□京都開催

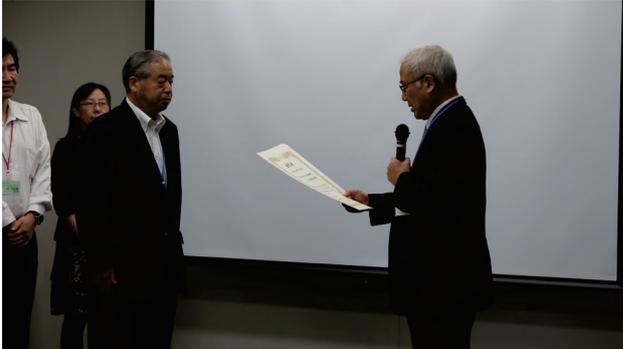
第一部(表彰式に先立ちノミネート作品のプレゼンテーションを実施)

1. HDビデオカメラ EOS C300/EOS C300PL 使用説明書(キヤノン株式会社)
2. ダイキンエアコン「ラクエア」取扱説明書(ダイキン工業株式会社)
3. ウォシュレット ネオレスト・アプリコット 取扱説明書(TOTO株式会社)

第二部(表彰式)

1. テクニカルコミュニケーター協会 会長 挨拶
2. 来賓挨拶 経済産業省 近畿経済産業局 産業部長 坪田 一郎氏
3. マニュアル オブ ザ イヤー選考結果発表及び表彰(賞状, 盾の授与)
4. 受賞企業挨拶
5. 最終審査委員講評

表彰式 写真



<マニュアル オブ ザ イヤー授与風景>

<マニュアル オブ ザ イヤー受賞者挨拶>

審査結果

賞名称		マニュアル名称	応募会社
マニュアル オブ ザ イヤー		ダイキンエアコン「ラクエア」取扱説明書	ダイキン工業株式会社
部門優 秀賞	冊子マニュアル 操作マニュアル第1部門	ウォシュレット ネオレスト・アプリコット 取扱説明書	TOTO株式会社
		給湯暖房用熱源機 取扱説明書 リモ コン編 IBR-A12A-CV 他	株式会社ガスター
	冊子マニュアル 操作マニュアル第2部門	HD ビデオカメラ EOS C300 / EOC C300 PL 使用説明書	キヤノン株式会社
	シートマニュアル/パッケー ジマニュアル部門	ヘッドマウントディスプレイ スタートガ イド	ソニー株式会社
部門優 良賞	冊子マニュアル 操作マニュアル第1部門	PRODIA 地上デジタルハイビジョン 液晶テレビ PRD-LK112 シリーズ 取 扱説明書	株式会社ピクセラ
		EV・PHEV 充電用 充電スタンド パ ブリックエリア向け Mode3 取扱説明 書	パナソニック エコソリュ ーションズ クリエイツ株 式会社
		住宅用太陽光発電システム マルチ ストリング型パワーコンディショナ 取 扱説明書	パナソニック エコソリュ ーションズ クリエイツ株 式会社
		給湯暖房用熱源機 取扱説明書 リモ コン編 IBR-A12A-BCGISV 他	株式会社ガスター
	冊子マニュアル 操作マニュアル第2部門	JP1/Cm2/Network Node Manager i 今日から使える NNMi おためしマニ ュアル	株式会社 日立製作所
	冊子マニュアル 活用マニュアル第1部門	東 芝 デ ジ タ ル 複 写 機 e-STUDIO256/356/456 かんたん操 作ガイド	東芝テック画像情報シス テム株式会社
	シートマニュアル/パッケー ジマニュアル部門	ワイヤレスネットワークの接続手順	株式会社ニコン
PlayStation®Vita クイックスタートガイ ド		株式会社 ソニー・コンピ ュータエンタテインメント	

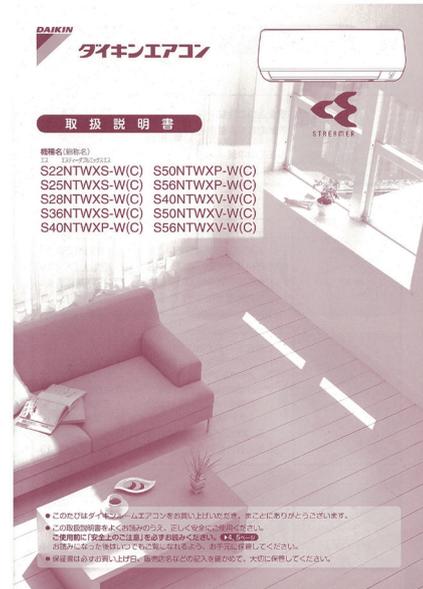
	画面で見るマニュアル 第1部門	JVC ビデオカメラ GZ-E265 スマート ユーザーガイド	株式会社 JVC ケンウッド
	画面で見るマニュアル 第2部門	使い方ガイド	ソフトバンクモバイル株 式会社

入賞マニュアル一覧

賞名称		マニュアル名称	応募会社
最終審査委員特別賞	安全賞	ウォシュレット ネオレスト・アプリコット 取扱説明書	TOTO株式会社
	目に優しいで賞	給湯暖房用熱源機 取扱説明書 リモコン編 IBR-A12A-CV 他	株式会社ガスター
企画賞		ガスふろ給湯器 取扱説明書「おふろのはてな」	株式会社ノーリツ
		使い方ガイド	ソフトバンクモバイル株式会社
実行委員特別賞	企画奨励賞	AV アンプ「VSA-922」取説連動	株式会社PMC
デザイン奨励賞		ガスふろ給湯器 取扱説明書「おふろのはてな」	株式会社ノーリツ
		給湯暖房用熱源機 取扱説明書 リモコン編 IBR-A12A-CV 他	株式会社ガスター
		imageRUNNER ADVANCE 4045/4045F/4035/4035F/4025/4025F 使いこなしガイド	キヤノン 株式会社

入賞マニュアル解説

マニュアル オブ ザイヤー ■部門優秀賞
 ダイキンエアコン「ラクエア」取扱説明書
 ダイキン工業株式会社



最終審査委員のコメント

最終審査では、MOYを選考する基準の一つとして「これからのマニュアル製作の方向性を示し、製品種を問わずどんなマニュアルにも採用してほしいコンセプトや工夫があること」を意識している。

受賞マニュアルをMOYに選考した理由は、機器操作の苦手なユーザーを対象として、製品機能の操作を確実に理解して実行してもらうために、説明内容が整理されデザインが工夫されている点である。特に、シニア層を想定して、文字・イラスト・レイアウトの視認性や理解容易性を高めている点、機器操作だけではなくマニュアルを読むことも苦手であることを想定して、デフォルメされたイラストを採用し、目次レイアウトの工夫(ダブル目次)している点も併せて評価された。さらに、選考した第二の理由は、一色(カラー)印刷のなかで数段階の濃度を利用してレイアウトにメリハリをつけたりイラストにグラデーションを加えている点、索引をつける・ツメの表示を工夫するなどマニュアルとしての基本構成要素を丁寧かつ手堅く取り入れている点である。

選考理由とした受賞マニュアルの特長は決して斬新なものではない。けれども、製品の低価格志向に伴いマニュアル製作のコストも抑制されるなかで、ユーザーが「使えること、わかること」さらには「安心できること」を最優先した製作スタイルは、これからのマニュアル製作にとって重要な方向性になると考える。

二次審査委員のコメント

機器操作が苦手なユーザーを対象として、製品機能の操作を確実に理解し実行してもらうためのデザインが工夫されている。高齢のユーザーも想定し、文字・イラスト・レイアウトの視認性も良好である。一色印刷ながら、数段階の濃度を適切に利用し、イラストにはグラデーションも加えられている。目新しさはないものの、丁寧に手堅く製作されたマニュアルである。

エアコンの操作はリモコンで行う、そのことを印象づけるため、目次にリモコンのイラストを挿入している。そのイラストも、基本・応用・設定という操作種類に応じて、使用時のリモコンの形態にしている。ちょっとした工夫だが、苦手なユーザーには適切なガイドになる。リモコンの操作自体も「押す」「回す」が中心だが、押すとエアコン本体がどう作動するのかや、どのように回すのかについて丁寧に説明されている点が評価できる。

機器操作が苦手なユーザーが対象ならば、「もっと便利に(機能設定)」やエアコン本体の「お手入れ」は、本マニュアルの説明によって、確実に実行できるのか、さらなる検証と改善が望まれる。

受賞者の声:

ダイキン工業株式会社

テクニカルコミュニケーター協会 20 周年という記念すべき年に MOY を受賞できたこと、大変嬉しく思っています。

昨年はダイキンエコキュートで受賞することができ、今年度は主力商品であるダイキンエアコンで挑戦しようという目標を掲げ、関連部門と協業し、試行錯誤しながら取り組んでまいりました。

誰でも分かりやすく、使いやすい商品を目指したダイキンエアコン「ラクエア」で MOY を受賞できたことは、非常に価値のあることだと思っています。また、2 年連続での MOY 受賞は協会始まって以来とのことをお聞きし、凄いことを達成できたんだと実感しています。

今回のマニュアルコンテストはノミネートされた 3 社が、それぞれプレゼンを行うことになり、緊張もありましたが、どんなコンセプトで制作したのかを改めて確認できるいい機会となりました。

これからも、お客様にとって役に立つ取説とは・・・を常に考えながら日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。

最終審査委員特別賞 「安全賞」

ウォシュレット ネオレスト・アプリコット 取扱説明書

TOTO株式会社

多数の応募作品の中で、特に「安全」で目を引きつけたのは、TOTO のウォシュレットのマニュアルであった。マニュアルを2枚めくると安全上の注意が4ページにわたりとめられている。そこには「警告」マークや「故障したままで使いつづけない！」「火災、感電、発熱、ショートを防ぐために」の注意項目などが、イラスト入りでバランスよく配置

されている。また、マニュアル末尾には、「重大事故防止のお願い」として「温水洗浄便座は電気製品で寿命があります」と記されており、長期使用による経年劣化の事故を未然防止するために、想定安全使用期間が10年であることや、定期的な点検の箇所を図示して、使用者が何に注意をすればよいか、実に分かりやすくまとめられていた。

マニュアルは製品の操作の方法だけでなく、製品事故のリスクを低減するために使用者に情報を提供する最後の手段なのだが、安全賞にふさわしいマニュアルに出会うことができた。



最終審査委員特別賞 「目に優しいで賞」

給湯暖房用熱源機 取扱説明書 リモコン編 IBR-A12A-CV
他
株式会社ガスター

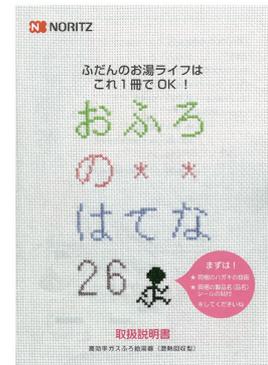
各ページの余白が多く、自然な柔らかさを持つ線や温かみのあるイラストを用いることで、目に優しくほっとさせるものとなっている。結果として楽しく読み進むことが出来、ページ数はかなりあるが無理なく製品の特長や正しい使用手順等を理解させることに成功している。購入した製品にどんな機能があり、どんな注意が必要か、どう使いこなすか・・・とわくわくしながらページを開いても、字がびっしりで堅苦しい表現が続くと操作自体も難しいと感じ、冊子を閉じてしまう。この説明書は実にゆったりした構成で、苦痛や疲れを感じさせない。読み手の気持ちを最大限考慮しており、給湯暖房用熱源機という広く一般向けの住宅用機器であることから、親しみやすさを尊重している点は望ましい。

見出し(インデックス)を付けること等で、探すページを見つけやすくする工夫は欲しかったが、目に優しい説明書は機器を使いこなすことに繋がり、無駄のないエネルギー使用へも繋がる。



企画賞

ガスふろ給湯器 取扱説明書「おふろのはてな」
株式会社ノーリツ



問い合わせ件数を減らしたい。そのためにマニュアルを読んでもらいたい。しかし、「マニュアルなんて読まなくても操作できる」「マニュアルなんて難しいから読まない」。そんな人たちに対して、とにかく「マニュアルを手にとって！開いて！」という熱意を込めた1冊。パステルカラーの刺繍調の優しい表紙が、とっつきにくさや難しさを払拭している。ページをめくれば、たくさんの写真、キャラクターやノーリツ社員さんの登場など遊び心満点である。大きな字、話しことば調で書かれた説明は平易でわかりやすい。「へえ、こんなこと知らなかった」「次はどんなことが書いてあるのだろう？」とわくわくしながら読み進めてしまう。ワンポイントアドバイスやもっと詳しいことを知りたい人への参照も充実しており、楽しさだけでなくマニュアルとしての機能も果たしている。

使い方ガイド

ソフトバンクモバイル株式会社



使い方ガイド



携帯電話では、新製品はもはやスマートフォンのみになってきている。それだけに、初めて使う時にタッチパネルや「スマホ」特有の言葉や操作に戸惑う人は多い。まず何よりも、「操作を学ぼう」では、動かない印刷物で説明されても感覚的につかみにくいタッチパネル関連の操作が、チュートリアルとしてソフトバンクのキャラクターの登場と併せて、自然にわかってしまう仕掛けが秀逸で、初心者も迷うことなく、基本操作をおぼえられる。さらに、さりげない用語解説、実際の画面をタップして進めたり、「今すぐ試す」など操作に直結している説明があり、効果的である。同じAndroid 携帯のユーザーとしては、自分の携帯電話に搭載してほしいと思うくらいの仕上がりである。ただ、後半はやや息切れしている感があり、次バージョンで更にレベルアップすることを期待したい。

実行委員特別賞 「企画奨励賞」

AV アンプ「VSA-922」取説連動

株式会社PMC



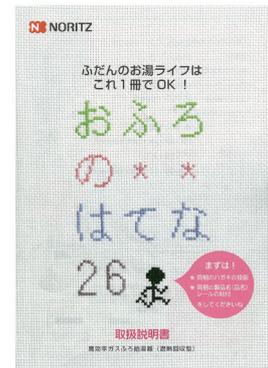
「PC 上のマニュアルから機器本体を操作できる」、また逆に「機器本体で行った操作に従って、マニュアルの該当トピックが表示される」という二つの方向性のインタラクティブ性を持ったコンテンツである。「UI に操作説明を盛り込む」のではなく「操作説明そのものが UI である」という、操作説明と UI の連携の新機軸に期待を込め、奨励賞を授賞する。

マニュアル自体としては、テキスト、ビジュアル、情報構造などに改善の余地が残されており、大きな見直しを期待する。

デザイン奨励賞

ガスふろ給湯器 取扱説明書「おふろのはてな」

株式会社ノーリツ



マニュアルのタイトルを「おふろのはてな 26」と「ふろ」と「26」をかけるなど読者をたのしく導こうとするサービス精神がうかがえる。見出しのキャッチーさと説明書らしくない写真によって、ユーザーの読む動機を強めるという可能性を感じる。レイアウトをはじめデザイン処理に問題があるので、これをクリアできれば、機能的でかつ楽しいマニュアルとなるであろう。

給湯暖房用熱源機 取扱説明書 リモコン編 IBR-A12A-CV 他

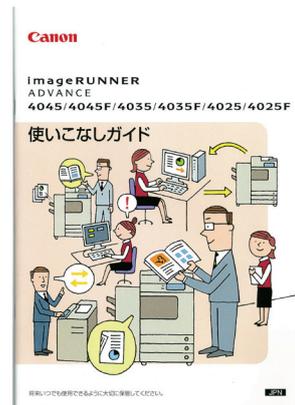
株式会社ガスター

今までにないレイアウトを採用したチャレンジ精神が評価できる。ただし現状では、レイアウトに規則性がなくガタついている部分も多いため、読みやすいとは言えない。イラストと手順の距離をもっと近づけ、手順説明をもっと簡潔にすれば、このレイアウトの持ち味をいかすことができるであろう。



imageRUNNER ADVANCE 4045/4045F/4035/4035F/4025/4025F
使いこなしガイド
キヤノン株式会社

書籍的な演出をマニュアルに盛り込むという新しい試みをしている。イラストを、もう少し直観的に理解できるように書き直し、単なるビジュアル的な飾りで終わらせずに説明文と機能的に結びつけるようにすれば、新しいマニュアルの形式になる可能性を感じる。



■部門優秀賞

冊子マニュアル 操作マニュアル第1部門

ウォシュレット ネオレスト・アプリコット 取扱説明書
TOTO株式会社

トイレ関連機器、特に温水洗浄便座は、住生活関連機器の中で最も重要な設備機器である。本取説のレイアウトデザインは、適切な量と必要なところだけうまく描写しているイラストに加え、簡潔な文字表現の説明をうまく組合せることで、本来なじみの薄いトイレ関連機器の煩雑な機器取扱いがスムーズに読者の目に入る。このように利用者が必要なことだけを、必要なときにスムーズに情報伝達することが取説の本意であり、このことは、永年温水洗浄便座をとり扱ってきた企業だからできるノウハウだと改めて感ずる。

さらに、利用者にとっての疑問点を捜すナビ検索性や「よくある質問」のビジュアルの取扱いもよい。ただ、転居などで移設工事を自分でする(DIY)際の説明やリモコンについての記載が少なく、これらに関してのより良い対応が望まれる。

近年注目のエコモードの取扱もややわかり難いという意見もみられた。更なる改善にも期待したい。

給湯暖房用熱源機 取扱説明書 リモコン編 IBR-A12A-CV 他
株式会社ガスター

親しみを感じさせるようなゆったりしたレイアウトであり、電子機器が苦手なユーザーや普段は取扱説明書を読まないユーザーにも気軽に読んでもらえることを期待できる。音声案内の絵表示や説明文にもとつきやすさを感じる。全体的にテキストやイラストが大きく、また、安全上の注意など必要最小限の情報を英文で提供していることから幅広いユーザー層への配慮を感じる。1ページあたりの情報もシンプルにまとまっているため読みやすい。

冊子マニュアル 操作マニュアル第2部門

HDビデオカメラ EOS C300 / EOC C300 PL 使用説明書

キヤノン株式会社

ハリウッドの映像制作市場に本格参入するデジタルシネマ対応のカメラである。期待は大きい。だが、マニュアル制作においては厳しい制約条件があり、制作担当の関係者にとっては大変だったことと思う。

個人的な話で恐縮だが、私は企業でマニュアル制作を担当していた時に上司から「マニュアルにはコンサバティブでなければならない要素がある。」と言われていた。それは検索性の諸要素のデザインである。もちろんデザインとはグラフィックだけではなく、情報デザインのことでもある。

本マニュアルの目次、索引、メニュー一覧の検索機能と内容はそれぞれが補完し合っていて、使い勝手がよい。目次は大括りでまとめられ、階層は深くなく、それがかえってよい。メニュー一覧のページはアミに白抜きの罫線が目によさしく、短調な表組が読みやすく検索しやすくデザインされている。各ページ上部のホワイトスペースは効果的である。

業務用の多機能のビデオカメラの説明内容を良くここまでまとめ上げた。

シートマニュアル／パッケージマニュアル部門

ヘッドマウントディスプレイ スタートガイド

ソニー株式会社

ヘッドマウントディスプレイという新しい商品であるが、映像を視聴するまでの手順を4つに分けており、4ステップで簡単に視聴できることが印象付けられている。この商品をスムーズに使ってもらうために重要な、「2 調整・装着する」の手順に重点を置いているが、イラストをうまく使った簡潔な手順にまとめられており、煩雑さを感じない。また、装着するとマニュアルが見えないことを考慮し、ビジュアルを効果的に使って手順を覚えられるように工夫してあると感じた。

全体を通し、すぐに使いたいというユーザーのニーズをくみ取った、わかりやすいスタートガイドだと感じた。使用するうえでの最低限の注意事項を明記してあると、さらに良いマニュアルになると思う。

■部門優良賞

冊子マニュアル 操作マニュアル第1部門

PRODIA 地上デジタルハイビジョン液晶テレビ PRD-LK112 シリーズ 取扱説明書
株式会社ピクセラ

一文一文が、簡潔に短くライティングされていることと、余白を大胆に使用していることにより、読みやすくまとまっている。また、適切なイラストの使用が、読みやすさをさらに演出しているため、全体的にさっぱりとした、親しみやすい印象が残るマニュアルになっている。
ページ数が少ないので、ぱらぱらとめくりながら情報を探し出すことは可能であるが、見出し、目次の工夫やインデックスの活用など、検索性を向上させるための改善の余地が残っている。

EV・PHEV 充電用 充電スタンド パブリックエリア向け Mode3 取扱説明書
パナソニック エコソリューションズ クリエイト株式会社

検索性が良く、親しみやすいイラストで読む気にさせるマニュアルである。
使用説明のポイントとなるイラストと簡潔な文章で表現することで、読み手に「読んでみよう」と思わせる工夫がされている。強調したいポイントを吹き出しで表現している点も良い。もくじにも工夫が見られ、操作の目的に応じたもくじ、使用の流れに応じたもくじを記載することで読み手が知りたい情報に素早く辿りつけるようにしている。

住宅用太陽光発電システム マルチストリング型パワーコンディショナ 取扱説明書
パナソニック エコソリューションズ クリエイト株式会社

堅さと柔らかさが上手にマッチしており、制作者のセンスの良さや、マニュアルの品質に対する意識の高さが伝わってくる。また、人物イラストが多く配置されており、キャラクターの表情や仕草で説明文を補うことで「読む気にさせる」工夫がされている。全体を見渡すと、概要～警告～本文～トラブル対処までの説明が、ほぼ同格で掲載されている点が印象的である。機

器を正しく安全に使用するにあたり、すべての項目が重要であることを再認識させられる。

給湯暖房用熱源機 取扱説明書 リモコン編 IBR-A12A-BCGISV 他
株式会社ガスター

紙面デザインやレイアウトに見やすくする工夫がされているマニュアルである。
情報が探しやすく、視線に迷いが生じない紙面になっている。工夫されているポイントとして、
シンプルでありながらメリハリのある紙面になっている点や、情報のレイアウトが明確に分け
られている点である。また、余白の空け方が大胆だが、バランスよく空いているためスッキリと
した見やすい印象を与えている。

冊子マニュアル 操作マニュアル第2部門

JP1/Cm2/Network Node Manager i 今日から使える NNMi おためしマニュアル
株式会社 日立製作所

わかりづらいと思われるようなネットワークシステムを、初心者にも理解出来るよう内容を整理した努力が伺える。

ともすれば膨大になりすぎるような内容を 100 ページ程度にまとめる苦勞が伺えた。

緑を基調とした色使いは見やすく、また、文章も簡潔で読みやすくなっている。

ただ、まだ表現にばらつきが見られ、より改善が望まれる。

冊子マニュアル 活用マニュアル第1部門

東芝デジタル複写機 e-STUDIO256/356/456 かんたん操作ガイド
東芝テック画像情報システム株式会社

全体的にまとまりが良く、安心して読める印象を与えるマニュアルになっている。多機能な製品のため、12 分冊という全体のマニュアル構成を冒頭で説明し、このマニュアル自体は扱い

やすいサイズとページ数に仕上がっている。フルカラーのメリットを生かしたインデックスを使用し、本文内の色の使いかたとの連動も効果的。全体のレイアウトや見出しはシンプルでオーソドックスだが、ストレスを感じずに経験値で読めることの重要性を感じさせる。

シートマニュアル／パッケージマニュアル部門

ワイヤレスネットワークの接続手順

株式会社ニコン

ユーザー目線で全体の冊子構成が工夫され、本シートの目的がはっきりしている。全体的に、詰め込みすぎの感がなく、折り目でコラムが分かれている点や、丸囲みの数字と四角囲みの数字を使用して手順を明確に分けている点など、随所にユーザー側の読みやすさを意識した工夫の結果が見られる。

また、最後の設定が完了したことを明確に記述してある文(以上で～の文)が、読み手に安心感を与えることに貢献している

PlayStation®Vita クイックスタートガイド

株式会社 ソニー・コンピュータエンタテインメント

製品と一体感の優れたデザイン性があり、新しい機器を買ったユーザーの新鮮な気持ちを裏切らないマニュアルである。

また、ゲームを始めるまでの必要最小限の情報が1枚にまとまっているため、はやくゲームを楽しみたいユーザーには嬉しい配慮である。購入後からゲームを始めるまでの、ユーザーのわくわくした気持ちを尊重したマニュアルである。

画面で見るマニュアル第1部門

JVC ビデオカメラ GZ-E265 スマートユーザーガイド

株式会社 JVC ケンウッド

ハンディタイプのビデオレコーダーという製品の使用場面を考えると、紙のマニュアルを持ち出さずに、スマートフォンで必要に応じて検索して表示するというコンセプトは大変有効だと思われる。携帯電話に比べて大きな画面を持つスマートフォンは表示できる情報量も多く、2次元バーコードによる入力の簡素化も有効。内容的にも良くまとめられているが、深さによっては通常のウェブページに飛ぶ部分もあり今後スマートフォン専用ページがさらに充実すると完成度が高くなる。

画面で見るマニュアル第2部門

使い方ガイド

ソフトバンクモバイル株式会社

説明対象の製品であるスマートフォンにあらかじめインストールされているマニュアルで文字通り製品の一部となっている。そのためユーザーはすぐにマニュアル情報に到達でき、スマートフォンの初心者でも無理なく製品を使用できる。内容もゲーム感覚でスマートフォン特有のタッチ操作などの実際の操作を体感できる。また画面設計も良好で、見やすいフォントで画面にあった情報量が提供されている。ただ全体を通してみると前半と後半で記述レベルに差があるのが残念であり、この点を改善すればさらに統一感のあるマニュアルになると思われる。

最終審査委員コメント

市川 美知

産業能率大学 情報マネジメント学部 講師

日本企業が今一つ元気が出ていないことを反映するかのよう、マニュアルも少し元気がない気がします。具体的に言うと、企画意図が想定範囲内に留まり「このような考え方、見せ方があったのか」という驚きがありませんでした。

しかしながら冊子の操作マニュアル第1部門では、これからの私たちの生活の変化を展望できるような環境対応の大型の製品が数多く入賞しており、これらの製品が市民権を得てますます普及していくためには、マニュアルの本来の役割がますます重要になっていくことと想われます。

一方、期待していた「画面で見るマニュアル」は最終審査に残った点数が少なく、残念でした。その中で印象に残ったのはソフトバンクモバイル(株)の「使い方ガイド」です。スマートフォンに特化した画面作りに成功したと言えます。各タイトル内の項目数が多すぎず、リンクでとんだ先の情報量が1画面に収まるように整理され、書体も読みやすいなど、当たり前のことですが評価できます。コンテンツの絞り込みがスマホユーザー本位だと思いました。

長田 敏 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 参事官

製品安全の仕事で普段見慣れている燃焼器具や電気製品だけでなく、住宅太陽光発電システムや、HDビデオカメラ、ヘッドマウントディスプレイなどの情報機器について多数応募があった。それだけ、日本マニュアルコンテストの製品領域が広いことを物語っている。また、マニュアルは元来、消費者に製品を正しく使用してもらうための方法を伝えるためにあるのだが、本コンテスト上位の作品はどれも、安全面をマニュアルの前段部分に入れることが常識化しており、タイトルの文字と説明文は、文字のサイズや濃淡によるメリハリや、配色で、使用者にイメージしやすいイラストを入れていた。つまり、上位の作品は、もはや評価チェックリストだけでは差をつけることはできない。マニュアルを官能によって審査することの重要性を体感することになった。

マニュアルは製品の一部とよくいわれることなのだが、製品の操作画面の中にマニュアルが組み込まれているスマートフォンが既に存在していることには驚かざるを得なかった。未来のマニュアルは、すべて、こんな形になっていくのだろう。

久保 雅義
センター センター長

京都工芸繊維大学 大学院教授／ブランドデザイン教育研究セ

マニュアル審査に際して、特に最終審査は大変であった。今年度は昨年度に比べると大きな進化よりは成熟度・完成度が決め手となり、結果として、昨年同様ダイキン工業のエアコン「ラクエア」が受賞された。僅差の決定となった。ミスが少ない、鍛えあげられた筋肉質とでもいうべき取説に栄冠が輝いた。

マニュアル制作のスキルは、コンテクスト力(文脈力)・編集力であることは言うまでもない。TOTO のウォシュレット ネオレスト、キャノンの HD ビデオカメラも、このスキルでは甲乙つけがたいレベルある。僅差をあえていうなら、編集表現、エディトリアルデザイン、表現の緻密さと思う。

マニュアル編集は枯れた技術といわれることがある、本年度の最終審査はこの部分の優劣であったが、一方ではユーザビリティ、視認性の革新など大きい進化は見られないのが残念であった。

今年度は企業を取り巻く経営環境も厳しく、製品開発や関連分野の進み方もスローであった。イノベーション・革新より基盤を固める年であったろう。まさにその背景をズバリ反映した応募となった。来年こそは、閉塞感を脱し画期的なイノベーションを生み出し、それに伴うマニュアルも創造性に満ちた編集の登場に期待したい。

山根 香織

主婦連合会 会長

初めて審査委員を務めさせていただきましたが、「見て、理解してもらおうマニュアル作り」に各社が熱心に取り組んでいることを実感しました。特に近年、製品安全に関する意識が高まり、安全なものづくりと事故防止のための注意喚起に各社の努力がうかがえました。使用する側の目線で、丁寧な取り扱い方と注意事項の理解しやすさを追求しているマニュアルが評価されたと思います。

製品自体が複雑で多機能なものが多い今、伝えるべき情報も多くなっていますが、いかに負担と感じさせずに少ない情報量でわかりやすく伝えるかがポイントだと感じました。そのための工夫は随所に見られましたが、シンプルな製品、シンプルなマニュアルを求める声と、高機能で専門的なものを使いこなしたいというニーズの双方に応えるために、製品づくりはもちろんマニュアルの制作にも多くの使用者の意見を集め、反映させることが重要だとあらためて思いました。次回も楽しみにしております。

綿井 雅康

十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授

「紙マニュアルはもう進化しないのか？」最終審査委員として16点のマニュアルを拝見し、さらに数年にわたり審査委員として参加させていただいている立場からの率直な感想です。どのマニュアルも対象ユーザを具体化し企画の意図を絞り込むなど、それぞれに工夫なさっていました。しかし、辛口で恐縮ですが、いずれも「想定範囲内」の工夫であり、マニュアルとしての「基礎基本の徹底」に留まっているように感じました。

「こんな新しい工夫もあるのか」「この工夫・企画は、製品の種別によらず、多くのマニュアルのスタンダードになる」「こんな説明があったら本当に便利」と感じられることが、本審査の楽しみ喜びでした。失礼ながら、今回の審査ではこうした「ワクワク感」を味わうことが難しかったです。審査対象のマニュアル数が数年前に比べて半減しています。製作する方々もご苦労なさっているのだと感じます。

マニュアルは、何よりもユーザーのためのものであり、大げさに言えば、人間生活の向上に貢献するものだと考えます。少し大げさですが、今日、私たちは自分たちの生活環境を見直す時期にあり、購入した製品をより良く使うことが求められています。私たちの生活向上に資するマニュアル、そんな視点から新たな工夫や企画をなさっていただきたく切に望む次第です。

デザイン賞審査委員コメント

坂野 公一 welle design 代表／グラフィックデザイナー

●所感

たいへん残念ながら今年は受賞作なしという判断をいたしました。

従来のスタイルに則った、平均以上と思われるものも多数ありましたが、それらは昨年までの受賞マニュアルのレベルは超えていません。もっと編集、構成、レイアウト等の全体を「デザイン」と捉えるべきではないかと。

そう感じさせる応募作の傾向を挙げたいとおもいます。

●審査したマニュアルの傾向は？

・デザインの細部にしか目がいていないもの

色数を増やしたり、イラストを安易に大きく扱ったり、罫や飾りでのメリハリ付けを多用してもよいマニュアルにはなりません。製品特徴を無視した独りよがりなデザインテイストが施されているものも散見されました。

・基本的なデザインバランスが取れていないもの

書体や級数の選び方、情報の差別化、視線の誘導などがうまく処理出来ていないものもありました。

・シンプルさの意味を履き違えているもの

安易な単純化は、視線の流れを迷わせる一因になりかねません。また、大きな判型を持って余しているものも(その逆も)。意図せず発生してしまった余白は、紙面のゆとりやわかりやすさには還元されにくいものです。

・説明しすぎてかえってユーザーを混乱させているもの

イラスト説明にさらに文字説明(手順など)を付け加え、かえってわかりづらくなっている。増加した情報量でページが飽和し、対症療法的にメリハリ付けに躍起になるが、レイアウトが崩壊…。まさしく本末転倒です。

今なおこのレベルの問題を抱えているマニュアルがあることには驚きを禁じえません。デザイ

ンに関連する専門情報が簡単に入手できる時代です。しかしそれ以上に、デザインの善し悪しを判断・評価する「目」が養われていないことが問題ではないかと感じています。

●今回の評価の方針は？

受賞に該当するものはないと判断しましたが、評価したいマニュアルを 3 点選びました。これらを、デザイン奨励賞としたいとおもいます。

これらはすべてマニュアルを「本」的に見せようとしているものでした。これはユーザの「読んでみよう」という意識を喚起する手段としては有効であると考えられますが、残念ながら「本」化しすぎてマニュアルとしては良好な成果が出ていません。まずは取扱説明書としての役割を果たすことを念頭に置くべきです。しかし、なにか新しいことをしようとしていることは確かです。

1 NORITZ ガスふろ給湯器

たのしく導こうとするサービス精神。

マニュアルのタイトルが「おふろのはてな 26」ということから、各頁の見出しを 26 個の「疑問形」とし、ユーザーのやりたいことに答えていく構成です。実は情報量はそれなりに多いのですが、見出しのキャッチーさと説明書らしくない写真によって、読む動機が強くなる可能性を感じます。レイアウトをはじめデザイン処理の問題をクリアできれば、機能的でかつファンなマニュアルとして成立するのではないのでしょうか。

2 東京ガス 給湯器 リモコン取扱説明書

いままでにないレイアウトを採用したチャレンジ。

ただし現状では、レイアウトに規則性がなくガタついている部分も多いため、読みやすいとは言えません。イラストと手順の距離が遠いことと、手順説明が冗長なことが原因の一つでしょう。このレイアウトの持ち味をいかしつつ、イラストと手順文の関係性を緊密にできれば、新しい形式となる可能性を秘めているとおもいます。

3 Canon Image RUNNER 使いこなしガイド

書籍的な演出をマニュアルに盛り込む。

ただ、一見した印象とは逆に「わかりにくい」マニュアルでした…。①大きな情景イラスト(目に飛び込む割に直感的にはわかりにくい)、②自由に配置された説明の読み解き(ここでイラストの意図を理解)、③説明のわかりづらさ(極小かつレイアウトに一貫性がない)という手順を

踏むため、理解に到達するまでに時間がかりすぎてしまう。ビジュアルを飾りで終わらせず、説明と機能的に結びつけられれば、一つのマニュアルの形式になる可能性を感じました。

製品の性質や情報の多寡による不公平感もあるかとおもいますが、それぞれの製品特性に見合ったあたらしいマニュアルの形式・様式を生み出すことは可能である、そう感じた審査でした。